

# 事業完了報告書（実行団体）

事業名:	生活困窮者支援のための市内資源拡充事業
資金分配団体名:	特定非営利活動法人ACOPA
実行団体名:	特定非営利活動法人ゆこびと
実施時期:	2021年4月～2022年2月
事業対象地域:	千葉県
事業対象者:	生活困窮者

Version 3.2

日付: 2022年3月25日

## I. 事業概要

事業実施概要	市内で子ども食堂が増えないという課題に対し市内の生活困窮者支援の資源として拡充を目指した。子ども食堂への関心を高めるためのフォーラムの実施。実際に子ども食堂に関わり力を発揮したいという方を対象に子ども食堂立ち上げ実践講座を実施した。また、並行して市内の企業協力や場所提供などの市内の資源を掘り起こし、マッチングや中間支援を行った。さらに資源やフードロスの循環活用のために購入した車で資源をつなぐルートの開拓を行った。そして、新型コロナにより子ども食堂に期待される役割の変化に対応し、当法人が実施する食糧支援事業にインターンとして参加出来る機会をつくり、実践的な業務体験と対人支援スキル向上を図った。
--------	---

## II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	新型コロナの流行に伴い、子ども食堂がもつ地域に密着した支援の力がニュースに頻繁に取り上げられたこともあり、注目の集まっている今年度この事業を実施したことは最適であったと言える。それは、フォーラム及び立ち上げ実践講座の参加人数が予想以上に満員となったことから伺い知れる。もちろん新型コロナの流行の波により、事業内で日程変更や十分に実施出来ない内容はあったものの、この状況下、隣接する船橋市で立ち上がった一か所を含め、合計4か所で子ども食堂開設の目処がたっており、ゼロから4箇所を生み出したことは大きな成果と考えている。事業設計で難しさがあったものは、新しくつながりをつくる内容であった。例えば、受講者と共に市内資源（場所や協力者など）を探す事、市内の商工業者等との連携などである。市内の商工業者等との連携については、社会情勢が変る中で、商工業者自体も様々な事情の中にあり、現実的に検討することや会うこと自体にも難しさがあったためと考えられた。しかし、一方で生活困窮者に対する食糧支援の機運は社会で高まっており、市内での周知をより強める事により今後の連携の可能性を高める事は出来ると考えられる。
-------------------	---

## III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
その他	居場所の不足	日常生活では経験しづらい団らの体験、他者を知り、交流する経験を得る	新規子ども食堂を立ち上げるか、開設準備中の活動団体数	最低2団体、最大でも5団体	4団体等が開設準備中でうち2か所は4月までに第一回を開催予定	子どもたちのために何がなくてはいけない、という思いを持っている人は確実に存在しており、この講座がこうした方々の結節点となり、その思いを形にする役割を果たすことになった。設定した最大目標値には届かなかったが及第点にあると考えている。
生活困窮者	食料関連の不足	新型コロナの影響により収入が減り食費が確保できなくなっていたが、食糧が確保できるようになる	フードヘルプ（パントリー事業）の受援世帯数	100世帯	106世帯 配食4回実施分 お米540キロ 肉類等 現在の状況及び家族人数に合せて配分	コロナ禍にあつて、子ども食堂に代わるものとして食糧の配布を継続してきた。講座の参加者にはインターンとして、この事業に参加いただき、対人スキル向上の場として活用した。支援依頼はSNSの利用、市役所生活困窮者担当課からの緊急支援の依頼により、その数は増加し続けている。
その他	連携の不足	行政だけではなく、市内の商工業者が子ども食堂の必要性を認識し、互いを連携者として認識することで、市内における食料循環の環ができるようになる下地ができる	協力する商工業者数	10社	7事業者	商工会のような連合体への周知をすすめたが、医療機関や学習塾が施設の一部を提供したいというものから、食品加工業者、農業生産者から冷凍食品や野菜の提供の申し出があったことから、事業者へ個別の丁寧な周知が重要であるを実感している。また、個人からの食材提供も申し出もあったことから、この事業により、市内に子ども食堂があるという認識が広がったと考えている。
生活困窮者	連携の不足	行政側が、市民との協働による地域課題解決の可能性を感じるようになる	合同会議の開催回数	1回	1回	子ども支援の担当課と「地域子供の未来応援交付金」の活用について協議することができた。さらに、協議のなかでは要保護児童対策協議会へ、子ども食堂に関わることの重要性についても理解いただけたことは、当初想定以上の成果と考えている。

## IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）\*

事業実施以降に目標とする状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>子ども食堂立ち上げ講座を計3年継続実施、ボランティアマッチングの実施</li> <li>鎌ヶ谷子ども食堂ネットワークの立ち上げ</li> <li>市役所との連携強化</li> <li>市内資源の開拓（特に食品業者10社）</li> <li>軽ワンボックスカーを利用した食品ロスの循環</li> </ol>
----------------	---

考察等	<p>こども食堂が市内に3箇所できており、経済的・社会的困難を抱える家庭への支援の受け皿や人材が開拓された。しかしながら市内全域とはなっておらず、他3エリアで活動する団体を育てる。</p> <p>さらに、ただこども食堂が立ち上がるだけでは、適切な支援ができるとは限らない。今回の事業を通して結果として、当法人が中間支援組織としての役割を担うことが必要であるということが分かった。また、鎌ヶ谷こども食堂ネットワークを正式に立ち上げセーフティネットワークの構築を進める。</p> <p>今回の事業を通して市役所子供総合相談室との関係が強化された。ミルクなど子供に特化した支援で市役所のニーズに応えられる団体として信頼を構築してきたこと、今回の事業で多くの人の注目が集まったことにより、国の補助金を活用した連携方法を相談できる段階にきた。</p> <p>食品業者と連携出来た数は少なかったが、今回の事業により「ゆこびと」「こども食堂」の認知度は確実に上がっており、今後も開拓を進め市内資源の確保・循環を行っていく。</p> <p>購入した軽ワンボックスカーは既に食糧配達や食糧の配達に活躍しており、今後福祉事業所などと連携して食品ロスの循環を行っていく企画も検討中である。</p>
-----	---

#### V. 活動

活動	進捗	概要
こども食堂フォーラムの開催	計画通り	開催方法を会場とZOOMのダブルバインドで実施したが、会場への参加は満席となり予想以上の参加者があった
こども食堂立ち上げ実践講座	ほぼ計画通り	コロナの感染拡大に伴い、講座の日程を調整したが、ほぼ予定通り実施することが出来た
こども食堂立ち上げ団体への中間支援	ほぼ計画通り	立ち上げ団体は順当に実施に向けて進んでいる。ラインなどで各団体が気軽に相談できる状態にあり活用されている
食糧支援事業でのインターン経験	計画通り	食糧支援の需要は高まっており、子供総合相談室との連携により緊急事案にも対応することが出来た。また、講座参加者にとっても支援を必要としている家族の存在を身近に感じてもらう事ができる良い機会となった
地域の資源探し	遅延あり	目標の事業者数には到達しなかったが、個人などを含めると様々な反応があった
参加者の体験発表会、事業の総括のための合同会議	計画通り	参加を依頼したステークホルダー（市役所5課、市議4会派4名、市民団体1名、社会福祉協議会）ほとんどに参加してもらう事が出来、予想以上の成果が得られた

#### VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	<p>最終フォーラムで、想定以上に市議の参加の申し入れが多く、また市役所内部で直接関わっていない課からもこども食堂というキーワードで参加者をだしてくれる課もあり、今までの市の反応からすると驚くほどの反応があった。そのおかげか、今後の連携に向けて市議が市役所に声を掛けてくれるなど動きがあった。</p> <p>また、自治会などの地縁組織がこの事業により当法人の活躍を認め、協力の意向を示してくれるなど、このような大きな事業を実施したことによる波及効果であると感じている。</p> <p>さらに、当法人内部のスタッフの気持ちの変化も大きく感じている。今回の事業を通して、スタッフそれぞれが自分の専門分野を生かし活躍したことにより自信を持って積極的に当団体への参加を表明してくれており、今後の発展への意識的・組織的基盤強化が図られた。</p>
---------------------	--

#### VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	<p>今回、SDGsの貧困をなくそうの一つの社会課題としてこども食堂を増やし社会資源の循環という事業に取り組んだが、この社会課題には多面性があり、フードロスや社会的孤立の解消、地縁による相互扶助の再構築など、貧困家庭だけでなく年代を問わず市民全ての人が受益者となる構造が存在している。</p> <p>フォーラムや講座の開催からは、何かしたいけどどうしたらいいかわからないという市民が一定数いることがわかった。地域課題解決のための活動の場を提供することで、参加する人自体も受益者として、つながり、生きがいをもつという社会的孤立の予防効果があると考えられる。</p> <p>当初より循環を意識して事業を進めてきたが、さらに市内のボランティアセンターの登録者などの掘り起こしなどを含め、より大きな循環の為の事業提案、巻き込み力を発揮したい。</p>
-----------	---

#### VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果

#### IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。（精算金額と一致させる必要はありません）

		計画額	実績額	執行率
事業費	直接事業費	4,299,400	4,299,160	100.0%
	管理的経費	881,600	883,360	100.2%
合計		5,181,000	5,182,520	100.0%
補足説明				

#### X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	<p>①7月9日 こども食堂フォーラム開催 地域新聞鎌ヶ谷版 フォーラム及び講座の告知 約4万部</p> <p>②7月9日 折り込みチラシ 地域新聞鎌ヶ谷版エリア外の鎌ヶ谷地域 フォーラム及び講座の告知 3610部</p> <p>③8月6日 こども食堂立ち上げ実践講座開催 地域新聞鎌ヶ谷版 講座の告知 約4万部</p> <p>④8月6日 折り込みチラシ 地域新聞鎌ヶ谷版エリア外の鎌ヶ谷地域 講座の告知 3610部</p> <p>⑤6月13日 福祉関係イベント・セミナー紹介 健康福祉ネット鎌ヶ谷WEB フォーラム及び講座の告知 <a href="http://www.fukushinet-kamagaya.jp/index.html#fukushi_event">http://www.fukushinet-kamagaya.jp/index.html#fukushi_event</a></p> <p>⑥7月20日 子育て支援コーディネーターの部屋 こども食堂って何？ かまっこ応援団WEB フォーラム及び講座の告知 <a href="https://kamakko.info/blog/%E3%81%93%E3%81%A9%E3%82%82%E9%A3%9F%E5%A0%82%E3%81%A3%E3%81%A6%E4%BD%95%EF%BC%9F%EF%BC%9F/">https://kamakko.info/blog/%E3%81%93%E3%81%A9%E3%82%82%E9%A3%9F%E5%A0%82%E3%81%A3%E3%81%A6%E4%BD%95%EF%BC%9F%EF%BC%9F/</a></p> <p>⑦7月1日 こども食堂フォーラム「こども食堂と時代～困窮の社会に必要なもの～」 鎌ヶ谷市広報 フォーラム告知</p> <p>⑧8月1日 こども食堂立ち上げ実践講座～鎌ヶ谷にもっとこども食堂を！～ 鎌ヶ谷市広報 講座告知</p> <p>⑨6月14日 こども食堂フォーラム&amp;こども食堂立ち上げ実践講座の御案内 NPOゆこびとイベントランディングページ フォーラム及び講座の告知 <a href="https://kodotan.yukobito.life">https://kodotan.yukobito.life</a></p> <p>⑩他FB投稿 フォーラム及び講座の告知</p>

2.広報制作物等 当該事業費を使って制作したもの	①5月6日～フォーラム及び講座案内チラシ及びポスター チラシ両面印刷 9000部 チラシ片面印刷(講座のみ) 4000部 A3ポスター 2種 各300部 A2ポスター 2種 各300部 ②6月14日 こども食堂フォーラム&こども食堂立ち上げ実践講座の御案内 イベントランディングページ <a href="https://kodotan.yukobito.life">https://kodotan.yukobito.life</a> ③6月15日～ NPO法人リーフレット A5仕上げり2つ折り 5000部 ④購入者を活用した事業案内チラシ データ制作
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法(事例)	①車にマグネットシートで貼付 5月6日～フォーラム及び講座案内チラシ及びポスター チラシ両面印刷 9000部 チラシ片面印刷(講座のみ) 4000部 A3ポスター 2種 各300部 A2ポスター 2種 各300部 講座及びフォーラムに使用した資料 シールの貼り付けが可能な各種物品
4.報告書等	①成果報告フォーラムの実施 市役所の担当各課、鎌ヶ谷市議会他市民等 計35名

#### XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績 ※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	完了	
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	全て公開した	
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更はなかった	
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	いいえ	今後定期会議の中で確認を実施していく
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置しましたか。	はい	
5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい	責任者の認定までにとどまっているため、今後実際の運用方法について具体的な整備を進めていく
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 外部監査 <input checked="" type="checkbox"/> 内部監査 <input type="checkbox"/> 実施予定はない	
7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。	いいえ	
8.内部通報制度は整備されていますか。	はい	

#### XII. その他

自由記述